

【県新人大会における注意事項及び感染防止対策について】

長崎県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部

【参加者・応援者について】

- ① 試合会場に入場できる参加者は、生徒・顧問・外部指導者・大会関係者のみとする。
- ② ①以外の参加者は、応援生徒（1・2年生部員）マネージャーとする。
※保護者、卒業生、3年生、中学生および一般の応援者の入場は不可とする。
- ③ 顧問は、生徒に「参加書面並びに参加承諾書」（様式2）を配付し提出してもらう。
応援生徒は（様式3-①）を顧問へ提出。（毎日各自で検温すること。）
※当日の体調不良者は大会への参加を認めない。
- ④ 外部指導者は、「参加書面」（様式3-②）を大会当日、各校の顧問へ提出すること。
※当日の体調不良者は会場への入場を認めない。
（③、④の書面は顧問が取りまとめて、各校で保管する。必要があれば、本部へ提出する。）
- ⑤ 顧問は、「参加書面」（チーム提出用）（様式4）を、毎日本部へ提出すること。
- ⑥ 保護者の駐車場利用はできない。（乗車・降車の場合のみ利用可能。）
- ⑦ 県立総合運動公園テニスコート横の駐車場については、女子選手引率専用駐車場とする。

【基本的な感染症対策】

- ① 試合中以外はマスク着用を原則とする。
ただし、高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるため、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクを外してよい。
- ② 更衣室の利用は極力控えること。利用は着替え・シャワーのみに限定し、利用時以外荷物を置くことは禁止する。また、入室は一度に5名までとし、他の利用者と密にならないよう十分な距離（2m以上）を空けること。
- ③ トイレに並ぶ場合は十分な距離（2m以上）を空けること。
- ④ 試合をしていない時は、自陣に「密」を避けて待機すること。
観覧席に座っての試合観戦は認めるが、十分な距離（2m以上）を保って観戦し、大声を出しての応援は控えるよう、チームで応援者に注意喚起を行うこと。
（応援は、拍手のみで行うように指導してください。）
- ⑤ 三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策、こまめな水分補給や日傘・帽子の使用など熱中症対策を各自しっかり行うこと。（日傘は 白・グレー・シルバーの使用禁止）

【試合について】

- ① 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
- ② 11月6日（土）は監督会議終了後に、顧問の先生より諸注意等の指示があるため、受付時間までに選手は必ず会場に集合しておくこと。
- ③ 今大会は“個人戦のベンチコーチ”を許可します。
- ④ 試合中の選手はマスクを外すこと。審判はマスクを外してもよい。
- ⑤ 自陣のサイドのベンチに一番近い入口から入場・退場し、入口に設置された手指消毒液で消毒を行うこと。
- ⑥ 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はサービスライン上で行うこと。
また試合後の選手間での握手、勝者サインは禁止とする。
- ⑦ 試合中、ペアなどとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
- ⑧ 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。
また、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。
- ⑨ 試合中の水分補給は、チェンジサービス時も認める。（ファイナルゲームは認めない。）
ただし、ベンチには戻らず、審判台の下に水筒等を置き、その場で水分を補給すること。
- ⑩ 試合が連続する場合は、試合が終了してから10分後に次の対戦を開始する。
- ⑪ 試合開始前、終了のたびに、こまめな手洗い・うがい等を行うこと。

【当日、生徒に発熱等の症状がみられる場合の対応】

- ① 発熱等の症状がみられる場合は、大会出場を認めないでください。
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校の管理職に連絡し帰宅させること。
- ③ 体調不良の選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告すること。
専門委員長は大会運営に支障がある場合には、その結果を県高体連に報告します。
- ④ 引率者は、選手及び応援生徒の健康観察を徹底してください。

【その他】

- ① 感染防止のために日本ソフトテニス連盟が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
- ② 上記を遵守できない場合には参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
- ③ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、指導者もしくは参加校から専門委員長に報告すること。
- ④ 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。